平成２９年度 事業報告

倉敷芸術科学大学

本学は「信頼の教育」を第一に考え、ここに学ぶ若者一人ひとりの潜在能力を引き出し、個性を生かしながら、教養の向上、専門能力の向上、そして人格の向上を遂行する教育を行います。

本学の教育に関する方針は「建学の理念」に基づき、有能で人間性豊かな人材を育成する。そのために教員個人の教育力は勿論のこと、チームワークとしての教育力を増強し、教職員一体となって学生の指導にあたり、地域社会に貢献する人材の育成に努めます。本学の教員は、それぞれの教育目標を保持し高い見識を持って、若者の育成に情熱を持って努力します。

教員にとって教育活動は必要条件であり、研究活動は十分条件です。教育の質の向上のために研究は不可欠であり、研究活動遂行のために外部研究資金等の獲得を促進します。また、教職員の評価方法等について研究し、実施します。

学生が勉学に専念し、有意義な学生生活を送れるよう、各種支援体制を構築します。

本学の教育研究成果を地域社会に還元することによって地域社会の発展に貢献します。また、地域の行政や産業界、諸団体と連携交流を図り、地域に期待され、愛される大学をめざします。本学の目的、すなわち建学の理念に基づいたオンリーワン教育を遂行するため、機能的な管理運営体制を整備します。

倉敷芸術科学大学　学長　河野　伊一郎

教育

１．教育

(1) 全学的教学マネジメント体制の構築

① 学修成果の達成状況の検証体制を確立するように努めました。

- ポリシー等の学生の認知度について、２０１６年度に続き、後期オリエンテーションにおいて、学生満足度アンケート調査を実施しました。
- コモンルーブリックを２０１８年度本格実施に向け、試行的に後期オリエンテーションにおいて、全学科で実施しました。
- 学生の授業アンケート、満足度アンケート結果を元に各学科に「教育プログラム」の検討を依頼しました。この検討内容を次年度以降の学科の科目構成やカリキュラムポリシー等の見直しに繋げていきます。
- 教育理念･目標を達成する教育課程を編成していくために、教育課程と学士力及びシラバスの達成目標をまとめたカリキュラムマップの基本的な枠組みを設定しました。
- 教育理念･目標及び方針の学生への周知方法の有効性について検証しました。

② 教学組織の再編や既存学部学科の見直し、他機関との連携を含めた弾力的な組織づくりの構築に努めました。

(2) 大学院教育の再構築

① 定員規模を見直すとともに、将来の方向性を明

確にするために抜本的な大学院組織改革に取り組みました。（「大学院委員会ワーキンググループ」を設置し、検討を開始。）

・基礎となる学部と研究科のマッチングのあり方等について、引き続き検討に努めました。

・学部･学科と大学院の教育課程の連携･接続を確保するために、系列及び教育課程を見直しました。

・収容定員に対する在籍学生数比率を向上させるために、効果が期待される諸方策を実施しました。

(3) 教育支援体制の充実

教員総合評価実施規程を定め、教育業績評価に取り組み、その優れた教育業績に対する適切な評価体制を構築しました。ただし、待遇面への反映は検討中です。

２．学生支援

(1) 学習支援のための教育環境の整備

① 学生一人ひとりが、主体的に学ぶことができる学習支援の場を整備しました。

・ラーニング･コモンズの設置を検討しました。

② 障がいのある学生に対する実効性のある支援体制の充実と学習環境を整備しました。

(2) 学生生活の活性化に向けた支援の充実

① キャンパスライフを充実させるために、部活動等の課外活動の支援体制の強化に努めました。その実施のために部活動をしている学生への満足度アンケート案を策定しました。

・人を思いやる心を養うための一助としてオリエンテーション等を通じ、広くボランティア活動への参加を促しました。７月に危機管理学部学生８名が｢学生消防隊｣を結成し、９月には岡山県から大学生消防応援隊として任命されました。

② 学生自己評価・診断システムを含めた学生関連情報等を統一管理するよう検討しました。

・学業不振や心の悩みを抱える学生の早期発見のため、学生カルテの利便性をより高め、学生生活指導や支援材料とします。

３．就職支援の充実

① 教員の全面的協力を含む就職支援体制を構築しました。

・就職委員は、キャリアセンター及び各学科教員と連絡を取り、積極的に企業情報の収集に努め、学生への指導を一層強化しました。

・学生の身近にいる教員が学生との距離を縮め、学生からの強い信頼を得て、学生の就職意欲向上に努めました。

・学生への調査｢大学生基礎レポート１｣｢キャリアアプローチ｣で得た情報を就職支援の一層の充実に繋げました。

② キャリア形成力や就業力を向上させるために、教育的効果の高いインターンシップ（就業体験）を積極的に推進、充実させました。

研究・創作

１．研究・創作

① 「芸術と科学の協調」に沿う研究など、領域を横断した総合研究を大学として全面的に推進・支援しました。今年度、共同研究として、３件の申請があり、３件とも採択されました。また、９月には教育改革を目的とした教育プロジェクト研究を新設し、公募した結果、２件の申請があり２件とも採択されました。

② 科学研究費や外部資金の確保など、目に見えるかたちでの社会的評価を得るように努めました。特に９月には岡山理科大学より、研究･社会連携センター長を招き、科学研究費獲得のための研修会を実施しました。

２．国際的競争力の強化

① 倉敷の知名度を活かし、海外からの研究者やアーティストの交流を積極的に進めました。

② 日本人学生の留学を促進するとともに、優れた留学生の確保に努めました。９月から１年間アメリカフィンドレー大学より、交換留学生を１名受

け入れ、９月から１２月までの３ヵ月間イタリア最古のボローニア大学より、芸術学部へ日本文化交流を目的としたインターンシップ学生を１名受け入れました。

社会連携

１．社会連携

① 提携高校、他大学、地元経済界、自治体からなるプラットフォーム(連携拠点)形成のため「倉敷未来プロジェクト計画」に参画し、地域活性化のための事業を推進しました。

② 地域プラットフォーム(連携拠点)間での事業について、ＣＯＣ事業の一環として運営している倉敷東町と玉島を拠点としたまちなか研究室において、地元で活動している人達に倉敷の文化や歴史、まちづくりなどの話を聞く「まちなかワークショップ」を開催、良寛会館・たましま会等地域団体との連携を通して共同研究・人材相互交流等を推進しました。

２．　高大接続改革

① 提携高校との教員及びカリキュラム交流を強化し、地域における高等教育の体系的な教育プログラムの整備を行いました。８月に各学科へ出張講義、体験授業等の高大接続に関する取り組みの調査を行いました。

② 地域でのボランティア活動の参加、「くらしき若衆」育成プログラムの「総合プロジェクト」「プロジェクト実習」「地域貢献実践」等の科目を通じて、まちづくりプロジェクト等の体験活動を推進し、倉敷市くらしき移住定住推進室と連携し、インターンシップ活動を通じて、卒業生の倉敷地域への定住化を促進しています。

内部質保証

１．内部質保証

アクションプラン自体の進捗状況や有効性・効率性を確認し、方針・規程・計画改訂等を定期的に見直しする体制を構築しました。

２．教職員の能力開発

教職員が適切な能力を有していることを確認するための点検・評価や、教職員の育成・能力向上のための方策（「人材育成ビジョン」「大学職員像」「教員･教員組織の編成各種方針」）を作りました。今後、計画的に実施する体制や仕組みを構築していきます。

３．学習環境や学生支援の点検・改善

施設・設備等に関する点検・評価の項目や基準を設定し、改善案を計画的に実施する体制や仕組みを構築しました。

４．質保証への外部関係者の関与

外部関係者の参加や意見聴取により、質保証の客観性や専門性を確保し、公平で質の高い点検・評価を実施するための仕組みを構築していきます。

５．大学評価基準に適合認定

公益財団法人日本高等教育評価機構の第２期大学評価（認定評価）を受審し、大学評価基準に適合していると認定されました。

経営基盤の安定化

１．経営基盤の安定化

(1)　組織的な大学運営

① 全学的な教職協働体制の整備に向け、まずは現状を把握し、再編方針を決定することから始めました。(各種委員会位置付け再編)

② 学科ごとの教員定員に関する申し合わせを作成し、学科の将来構想に基づいて、教員の採用計画案の策定に着手しました。

(2) 財政基盤の安定化

① 内部資源の見直しや外部資源との連携を図り、広報機能の強化・ブランド力の確立を目指しました。

② 経費抑制の中期的な予算戦略を立案し、予算編成・配分方法などを見直しました。具体的には、個人研究費・旅費規程、学部配分予算の見直しを検討しました。

③ 入試の変革、入学者選抜体制の改革について、入学者受け入れ方針に基づく学力の３要素を踏まえた多面的・総合的に評価する「センター試験利用入試（プラス型）」を設けました。

④ 寄付金・補助金を含む外部資金獲得のため、科学研究費補助金については、学部長・研究科長を対象としたＦＤ研修会を実施し、昨年２１件から３２件に申請が増加しました。

⑤ 学生生徒納付金収入以外の収入の多様化に向け、本学の遊休施設、設備等（２６号棟）の有効利用のため、１例として私立大学研究ブランディング事業を展開する場として検討しました。

学生の受入

■広報支局長による広報活動強化

高校生にとって進路選択に際し、もっとも影響を受ける高校教員との密接な関係を築くため、高等学校の現状に詳しい、本学担当広報支局長による高等学校訪問を強化することで、高等学校現場での認知度向上に努めました。

■高等学校訪問の見直し

岡山県内の高等学校訪問を重点的に実施するとともに、特に通学圏内である福山地区高等学校、予備校、私塾を中心に募集活動の展開を強化することで認知度向上に努めました。

■教育提携校との連携強化

高校生にとって将来を考えるきっかけとなるように、本学の見学や授業体験（吉備高原高校、関西高校他１１校）、芸術学部卒業制作展鑑賞会などの受け入れ（熊野高校他３校）を継続しました。また、教育提携校へ講師（７名）を派遣しての模擬授業等の高大連携を強化し、大学での学びの提供を行いました。

■入試方法等

設置する学部・学科のアドミッションポリシーに沿った入学者の受入及び広範囲となる地域からの受験生ニーズに応えるべく、利便性に配慮した入試の実施に努めました。また、今年度からセンター試験利用入試にて面接による加点方式を導入する等、受験生の多様性を評価する入試を実施しました。

人事･組織

■学部長・研究科長の選出

学部長及び研究科長の任期満了に伴い、学部長、研究科長の選出を行い、４月から新体制の下で大学運営を行いました。

■学部の改組及び学科、大学院専攻の廃止

・２０１７年４月より、産業科学技術学部経営情報学科を社会情勢の変化に対応する形で、経営・経済学分野を学びの中心とした危機管理学部危機管理学科に改組し、６７名が入学しました。

・在籍者が卒業・修了したため、２０１７年３月３１日付で芸術学部美術工芸学科及び大学院修士課程芸術研究科工芸専攻を廃止しました。

■事務組織の変更

・障害者差別解消法の２０１６年４月１日施行に伴い、２０１６年度は暫定的に学生課、健康管理センターに障害者支援に関する項目を追加し、運用してきましたが、２０１７年４月から「健康管理

センター」を「健康支援センター」に変更し、その下に「健康支援課」と「特別支援課」を設置し、障害者支援の充実を図り、運用を開始しました。

・「企画室」を「ＩＲ・企画室」に名称変更し、従来の企画関係業務に加え、教育・研究に係る情報収集・分析、並びに将来を見据えたビジョン・中期目標・計画に関する業務を行いました。

主な行事

4月 4日	入学前オリエンテーション
4月 5日	入学宣誓式
4月 6日 ～9日	新入生･在学生オリエンテーション
4月 9日	大学院(通信制)入学宣誓式
4月 11日	前期授業開始
4月 15日	霞祭
6月 4日	春オープンキャンパス
7月 29日 30日	夏オープンキャンパス
8月 1日 ～ 7日	前期定期試験
8月 9日 10日	教員免許状更新講習会
8月 26日	ミニオープンキャンパス
9月 9日	教育懇談会(地方会場)
9月 16日	教育懇談会(本学会場)
9月 22日	学位記授与式、留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月 25日	後期オリエンテーション
9月 26日	後期授業開始
9月 30日	秋オープンキャンパス
10月 28日 29日	芸科祭 芸科祭･秋のｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ第２弾
11月 9日 10日	認証評価実地視察
11月 14日	就職懇談会(東京会場)
11月 18日	合格者大学相談会1回目
11月 21日	就職懇談会(大阪会場)
2月 5日 ～9日	後期定期試験
2月 17日	合格者大学相談会2回目
2月 27日	就職懇談会(広島会場)
3月 23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

（平成29年5月1日現在）

研究科・学部・学科名			入学定員	入学者数	留学生	社会人	収容定員	在学者数	留学生	社会人
大学院		芸術研究科（博士）	4	1	0	0	12	3	1	0
		芸術研究科（修士）	10	5	2	0	20	7	3	0
		産業科学技術研究科（博士）	2	0	0	0	10	2	0	0
		産業科学技術研究科（修士）	8	3	0	0	24	6	0	0
		人間文化研究科（修士）	15	4	2	1	30	6	3	1
		大学院　計	39	13	4	1	96	24	7	1
学部	芸術学部	メディア映像学科	50	52	5	0	204	177	17	0
		デザイン学科	—	—	—	—	—	2	0	0
		デザイン芸術学科	55	37	7	0	220	145	16	0
		計	105	89	12	0	424	324	33	0
	技術学部	経営情報学科	（募集停止）	—	—	—	284	107	26	0
		観光学科	（募集停止）	—	—	—	—	1	0	0
		計	0	0	0	0	284	108	26	0
	生命科学部	生命科学科	50	34	0	0	200	177	0	0
		健康科学科	—	—	—	—	—	4	0	0
		健康科学科(健康科学専攻)	55	49	1	0	220	225	1	0
		健康科学科(鍼灸専攻)	30	13	0	1	120	38	0	1
		生命動物科学科	—	—	—	—	—	3	0	0
		動物生命科学科	60	46	0	0	244	182	0	0
		生命医科学科	50	64	0	0	200	216	0	0
		健康医療学科	（募集停止）	—	—	—	—	1	0	0
		計	245	206	1	1	984	846	1	1
	危機管理学部	危機管理学科	90	67	16	0	90	67	16	0
		計	90	67	16	0	90	67	16	0
	学部　計		440	362	29	1	1,782	1,345	76	1
通学制　合計			**479**	**375**	**33**	**2**	**1,878**	**1,369**	**83**	**2**
大学院（通信制）		芸術研究科（修士）	10	1	0	1	20	1	0	1
		産業科学技術研究科（修士）	20	0	0	0	40	0	0	0
		人間文化研究科（修士）	30	2	0	2	60	3	0	3
		計	60	3	0	3	120	4	0	4
通信制　合計			**60**	**3**	**0**	**3**	**120**	**4**	**0**	**4**
総合計（通学制＋通信制）			**539**	**378**	**33**	**5**	**1,998**	**1,373**	**83**	**6**
別科		留学生別科	60	14	14	—	80	28	28	—
		計	**60**	**14**	**14**	**0**	**80**	**28**	**28**	**0**

（単位：人）

※社会人は社会人入試にて入学した学生数

■卒業者数等一覧

（平成29年度）

区分		修了者・卒業者	満期退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	博士	2		2	2	100.0%		1		1
	修士	7		5	5	100.0%				
学部		310		244	240	98.4%	8	44	3	17
大学院（通信制）		1								
別科	留学生	23					21	8		5

※ 修業年限を超えて在籍している学生数（平成30年4月1日現在）　（単位：人）

主な就職先	穴吹エンタープライズ㈱、㈱アワーズ、大分県信用組合、岡山トヨタ自動車㈱、岐阜プラスチック工業㈱ ㈱クロステレビ、㈱コスモス薬品、山陽ヤナセ㈱、太陽建機レンタル株式会社、大洋ポーク㈱、玉島信用金庫 東亜合成㈱、㈱ヒロタニ、トーステ㈱、徳島ガラススタジオ、日本郵便㈱、㈱日立製作所、㈱ビザビ 岡山医療センター、岡山市立市民病院、赤磐医師会病院、済生会今治病院、淳風会健康管理センター 北川村役場、つるぎ町役場、東京消防庁、倉敷市消防局、ＡＣＣ福山動物医療センター

■教職員数

（平成29年5月1日現在）

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	**教員　計**
1	3	50	24	13	3	1	1	**96**

事務職員
61

（単位:人）

*副学長1名は教授人数から、副学長1名は講師人数から除く
*学長補佐2名は人数外

財務関係

■事業活動収支

（単位：千円）

科目 ＼ 年度			２９年度 決算額	前年度 決算額
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,079,811	2,138,717
		経常費等補助金	249,191	276,019
		その他収入	105,715	126,503
		計	2,434,718	2,541,239
	支出	人件費	1,968,503	1,894,232
		教育研究経費	796,666	822,173
		管理経費	269,057	268,633
		その他支出	683	130
		計	3,034,909	2,985,168
教育活動収支差額			△600,191	△443,929
教活外	収	受取利息等	2	2
	支	借入金利息等	9,684	10,556
教育活動外収支差額			△9,682	△10,554
経常収支差額			△609,873	△454,483
特別	収	資産売却差額等	1,524	1,036
	支	資産処分差額等	6,209	6,115
特別収支差額			△4,685	△5,079
基本金組入前収支差額			△614,558	△459,562
基本金組入額合計			△146,412	△104,199
当年度収支差額			△760,970	△563,761

■施設設備整備計画

（単位：千円）

事業名	金額
ﾍﾙｽﾋﾟｱ倉敷外壁修理工事(第１期)	37,100
ﾍﾙｽﾋﾟｱ倉敷氷上整備車ｶﾞﾚｰｼﾞ新築工事	4,646
体育館（8号館）横排水改良工事	545
学内ﾈｯﾄﾜｰｸ整備事業（ﾘｰｽ導入）	71,585
Web ﾎﾟｰﾀﾙｼｽﾃﾑ用ｻｰﾊﾞｰ 一式	9,450
学内監視ｶﾒﾗ更新	3,132